



どこで見つけてもおかしくない！

特定外来生物のセアカゴケグモ、

どんなことに気がつけたらいいの？



セアカゴケグモは、もともと日本に生息していなかった毒グモです。福岡市内では2007年に東区で初めて発見されました。繁殖力が強いので、生息域が拡大しており、現在では市内のどこで見つけてもおかしくない状況です。

## 毒はあるけどおとなしい。目印は赤色模様

海外から日本に持ちこまれた特定外来生物のセアカゴケグモ。毒は持っていますがおとなしい性格で、自ら攻撃することはありません。しかし、かまれることもあるので見つけても素手で絶対に触らないようにしましょう。背中とおなかの赤色模様が特徴です。

セアカゴケグモ (メス)

おなか側



- 全体はツヤのある黒色
- 背中に帯状模様  
おなかに砂時計模様
- おしり側が丸くて大きい
- 成体(メス)は体長約1cm
- 足の長さを含めると3~4cm

背中側



きけん

屋外の暖かい物陰を好み、巣を張る。  
夏から秋は特に注意を



セアカゴケグモの巣と卵のう

セアカゴケグモは、側溝のふた、ベンチの下、エアコン室外機の下、外に置いている靴やサンダルの中など、屋外の暖かい場所の物陰、隙間を好みます。巣の形は不規則で、卵のうに入った袋「卵のう」を作ります。特に夏から秋にかけて動きが活発になるので、注意が必要です。

日頃から注意しておきたいこと

- 庭の手入れや掃除をするときは、軍手やビニール製の手袋、靴下を着用する
- 屋外に出っぱなしの靴やサンダルを履くときは、中にクモが入っていないか確認する

きけん



## ゴケグモ類の駆除の仕方

Point 1

素手で触らないよう、軍手やビニール製の手袋などを着用する



Point 2

市販の家庭用スプレー式殺虫剤(ピレスロイド系)を吹きかける



Point 3

殺虫剤がない場合は、靴で踏みつぶす



Point 4

卵のうは、割り箸でつまんでビニール袋に入れ、殺虫剤を十分に吹き付けて袋の口を縛り、靴で踏みつぶした後、燃えるごみとして捨てる



### ハイロゴケグモ

セアカゴケグモの仲間ハイロゴケグモも海外原産の特定外来生物。灰色または褐色の丸い胴体で、おなかには赤い砂時計模様があります。卵のうはこんぺいとう形。セアカゴケグモ同様に毒があるので注意。



## かまれた時はすぐに洗って、急いで病院へ

セアカゴケグモにかまれると痛みを感じ、かまれた所が赤くなります。発熱・吐き気・頭痛の症状が出ることもあり、高齢者や子どもは重症化するおそれもあります。

かまれてしまった場合は、かまれた場所をすぐに水や温水で洗い流し、できる限り早く医療機関で医師の診察を受けましょう。



ゴケグモ類についてもっと知りたいときは

ホームページ「セアカゴケグモ・ハイロゴケグモにご注意ください!」で詳しく紹介しています。

● 福岡市ホームページ

福岡市 ゴケグモ 検索

● 環境省ホームページ

環境省 ゴケグモ 検索